

ジと石けんを使用して陰部周囲をお湯で洗い流す。なお、お湯は洗髪車のシャワーを使用した。患者の背部が不安定な場合は、背部にバスタオル、枕、バックレスト等を使用して安定させた。

### 〔結 果〕

- ① 洗浄を開始した日から、湿疹のひどい患者でも8日間でよくなった。
- ② 洗うという事で、清拭よりも気持ちが良いと好評であった。

又、タイヤチューブ器具の欠点として

- ① 患者により、腰部異和感を訴える者もいたが上半身挙上や背部にバスタオルをしく事で訴えは少なくなった。
- ② 排水孔の位置がタイヤの側面にあるので、排水がスムーズにいかず底に汚水がたまる事があった。

### 〔おわりに〕

陰部の清潔の保持及び頑癬や湿疹の予防に対し、洗うという事は大変良い結果が得られた。器具作製から使用に至るまで、患者と共に協力しあい、少しずつ使いこなしていった。今後も患者にとってより安楽なものになるよう、さらに工夫して有効に利用していきたい。

## ⑧ 坐位姿勢を保つための自助具の考案

国立療養所西別府病院

大 谷 喜栄子      山 元 よみ子  
小 平 まゆみ      安 川 郁 子

### 〔目 的〕

片膝立てて起坐している患児の場合、骨格筋の萎縮と筋力の低下のために、躯幹、四肢の変形があり、起坐時の姿勢を保つことが困難となる。病状が進行するにつれて、長時間の固定が保ちにくくなり、患児に不安や恐怖を与え、又捻挫や骨折をおこしかねないので起坐時の安定を計るために、足の滑り止めを工夫する。以前は、おしぼりを足の下に敷き足を固定させていたが、固定も充分でなかったので次の方法を試みた。

### 〔方法及び結果〕

- (1) 車のタイヤチューブの利用、チューブを楕円形 21.5 cm × 31.5 cm に切り、2枚ボンドではり合せ、それに足をおおう様に布でカバーをした。カバーはマジックテープで取りはずし出来る

様にした。その結果、タイヤチューブが滑りやすいため、底に彫刻刀で格子模様の溝をつけたが、あまり効果が得られなかった。

- (2) 古いおねしょパットとバスタオルの利用、おねしょパットを楕円形 22.7 cm × 20 cm に 2 枚切り、縫い合せ使用してみたが滑るため、バスタオルを敷き作製したものを置いた。バスタオルはシートにくらべて滑りにくく、足の固定も良かったが、長時間の固定には耐えられなかった。
- (3) 市販の食卓用滑り止めマットの利用、食卓用滑り止めマット 25 cm × 35 cm を ½ に切り、楕円形にし、凹凸のあるサッカー地でカバーを作製し、使用してみたが、布が滑るため、底の ¾ にダーツを入れたが、ダーツは滑り止めの役目をはたさなかったので除去し、マットを足に直接使用してみた。足の固定もよく、長時間の起坐が保たれて、患児にも好評であった。夏は発汗のため滑りやすいのではと思われるが、その心配はなかった。マットは、ホコリがつくと効果が減少するので、2 週間に 1 度水洗いした。水洗の結果は洗浄前と変わらなかった。

### 【おわりに】

足の滑り止め (1) (2) を作製してみたが、片膝立て姿勢もさまざまで、同じ用具が適応できない場合もあった。食卓用マットの使用により足が滑らず安心して、長時間の起坐位が保てる様になった。今では車椅子での起坐姿勢が保ちにくい患児のために胸当に應用したり、又トイレで坐る時、足が滑りやすく、安定の悪い患児のために、滑り止めマットを便器の両端に使用している。

## 9. 末期患児を通じて 死に直面する他児へのアプローチ

国立療養所長良病院

郷 津 佐世子

### 【はじめに】

当病棟では、ここ 1～2 年の間に、数名の患児がベッド生活を余儀なくされ、この世を去った。前回、「ベッド生活の多くなった PMD 児の生活指導」と題して、当病棟の一患児の症例を取り上げ、「集団生活の中で、仲間や職員とのふれあいを通して、患児の生きがいを見つけ出し、より積極的に生活できるようにする」を目的とした研究を報告した。しかし、末期という特殊な状況にある患児だけに、十分な看護をするのに、難しい問題が多く残された、と反省されている。

たて続けになくなった患児を見て来た他患児にとっては、精神的動揺は激しいと思われる。今回は他患児が、彼らをどの様に見つめ、「死」をどの様にとらえているかを探り、この中から今

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

〔目的〕

片膝立てて起坐している患児の場合、骨格筋の萎縮と筋力の低下のために、  
躯幹、四肢の変形があり、起坐時の姿勢を保つことが困難となる。病状が進行  
するにつれて、長時間の固定が保ちにくくなり、患児に不安や恐怖を与え、又  
捻挫や骨折をおこしかねないので起坐時の安定を計るために、足の滑り止めを  
工夫する。以前は、おしぼりを足の下に敷き足を固定させていたが、固定も充  
分でなかったなので次の方法を試みた。